インターカルチュラルシティ

掛け橋になり、壁を壊す

外国人の受入れと日本への統合に関する国際フォーラム
[共生社会実現に向けた自治体間の国内外連携]

Rita Marascalchi
インターカルチュラルシティプログラム
インターカルチュラル統合ユニット
差別禁止部
欧州評議会

欧州評議会

- 欧州の主要な人権組織である同組織は、人権、民主主義、法という3つの柱に基づき、加盟国間の一層の結束を促進することを目指している。
- 46の加盟国 が7億人のヨーロッパ人の人権保護を確保するために活動している
- 活動内容は欧州人権条約、および特定の分野（拷問の防止、人工知能、少数派の保護など）に関する、その他の複数の条約に基づいている
- 差別の禁止、人権、民主主義を含む多様な分野における基準設定に関する政府間の働き
- 独立委員会による条約の監視
- 欧州評議会の基準及び勧告の実施を促進する協力

講演内容の構成：

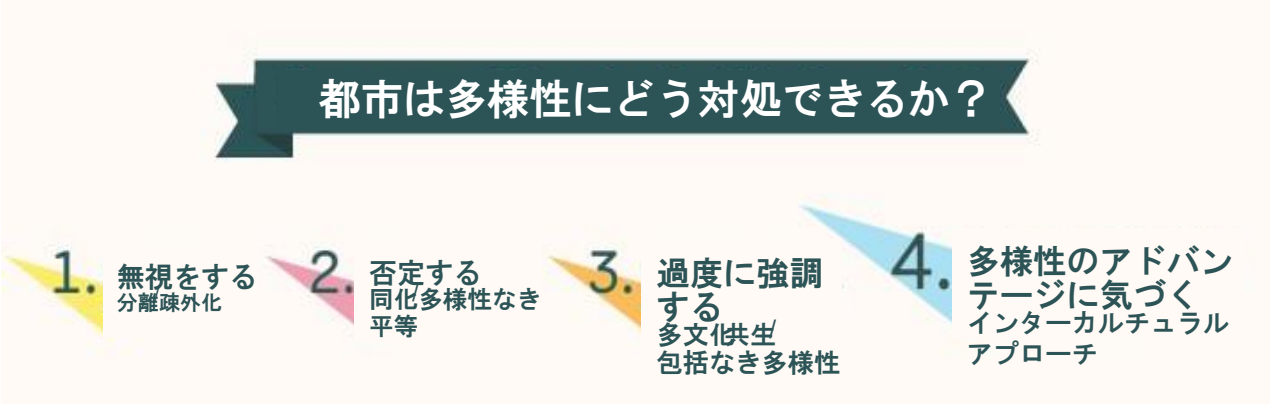
1.インターカルチュラルアプローチ

2.インターカルチュラルシティプログラム

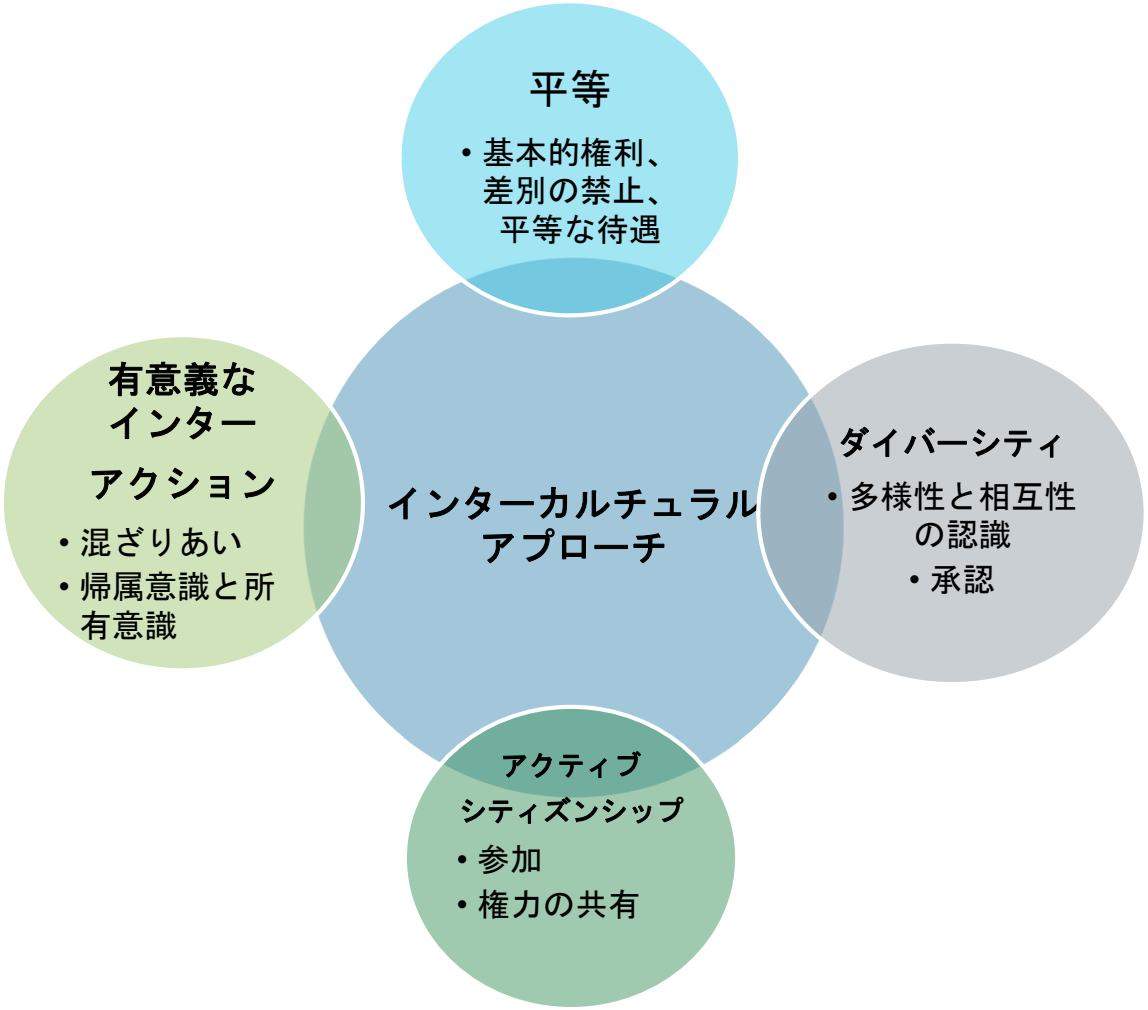
1.インターカルチュラルアプローチ

インターカルチュラルアプローチーなぜインターカルチュラルなのか

	経済的権利	市民的・社会的権利	文化的権利	コミュニティの構築と結束
ゲストワーカー	✔			
同化	✔	✔		
マルチカルチュラリズム（多文化主義）	✔	✔	✔	
インターカルチュラリズム	✔	✔	✔	✔



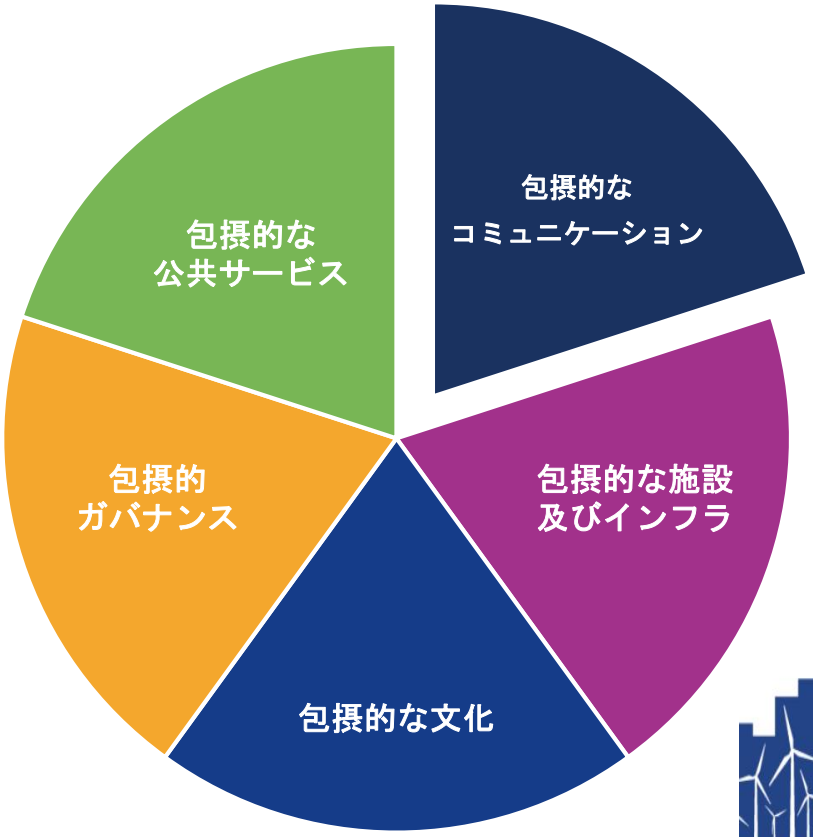
インターカルチュラルアプローチ－4つの柱

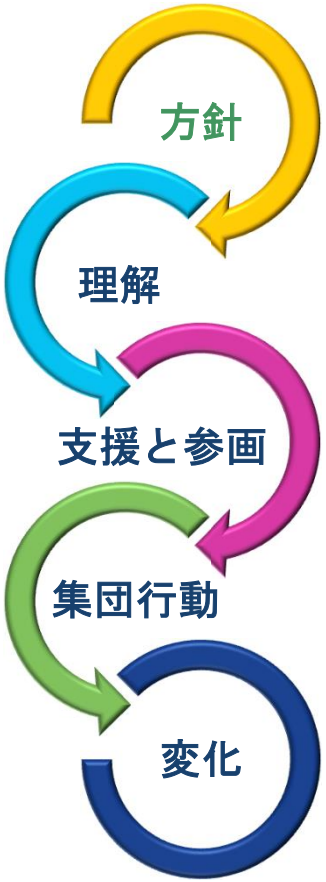


ほとんどの都市は、国籍、出身地、言語、宗教/信条、性的指向、年齢層など、多様な人口を抱えている。

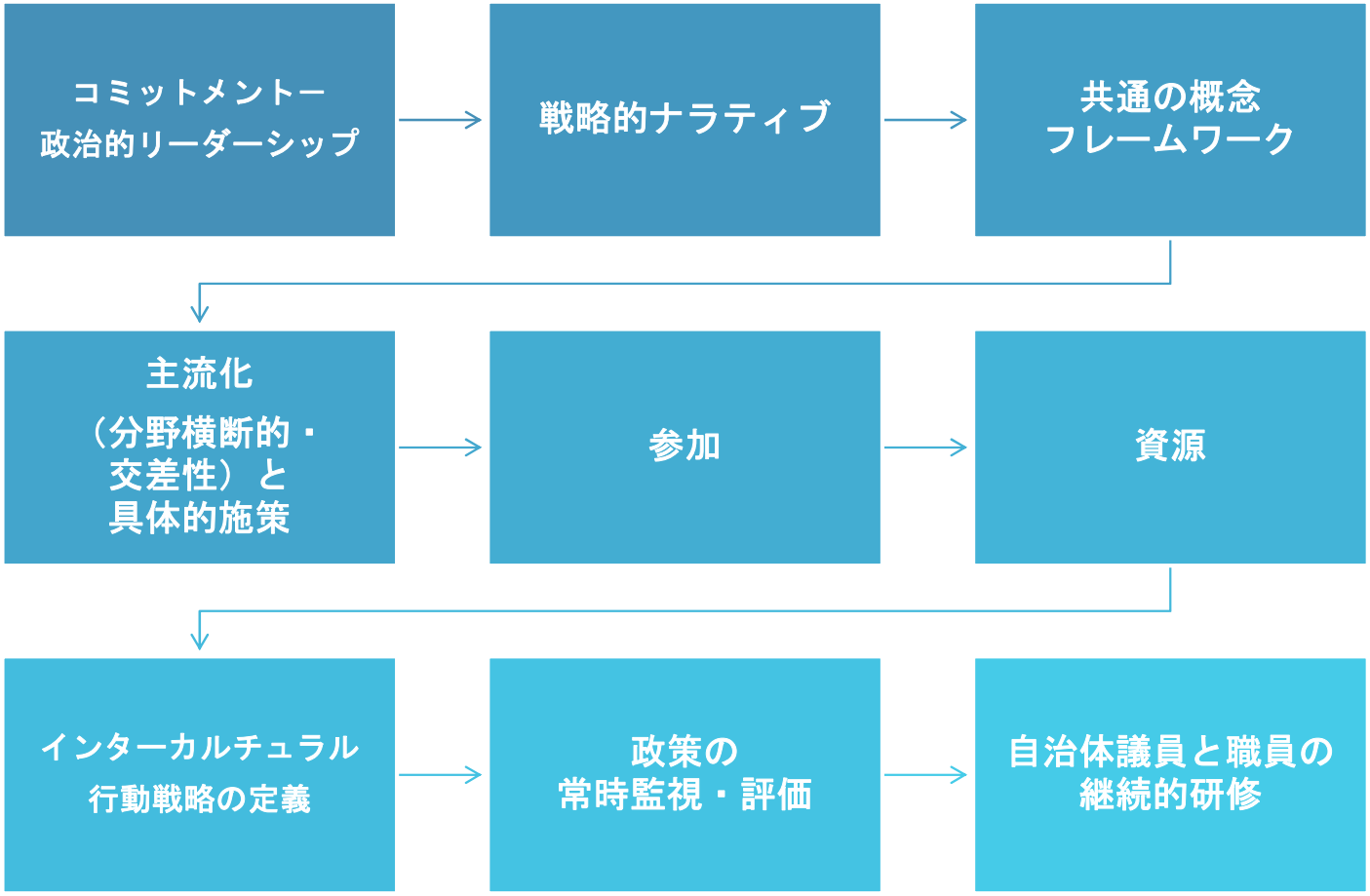
インターカルチュラルな統合は、市民がこの**多様性を**問題ではなく**資源とみなし**、すべての文化が出会うことで変化することを受け入れるよう奨励する**政策アプローチ**である。それは、個人、個人のコミュニティ、そして社会全体を巻き込む**双方向のプロセス**である。

インターカルチュラルシティとはどのようなものか?

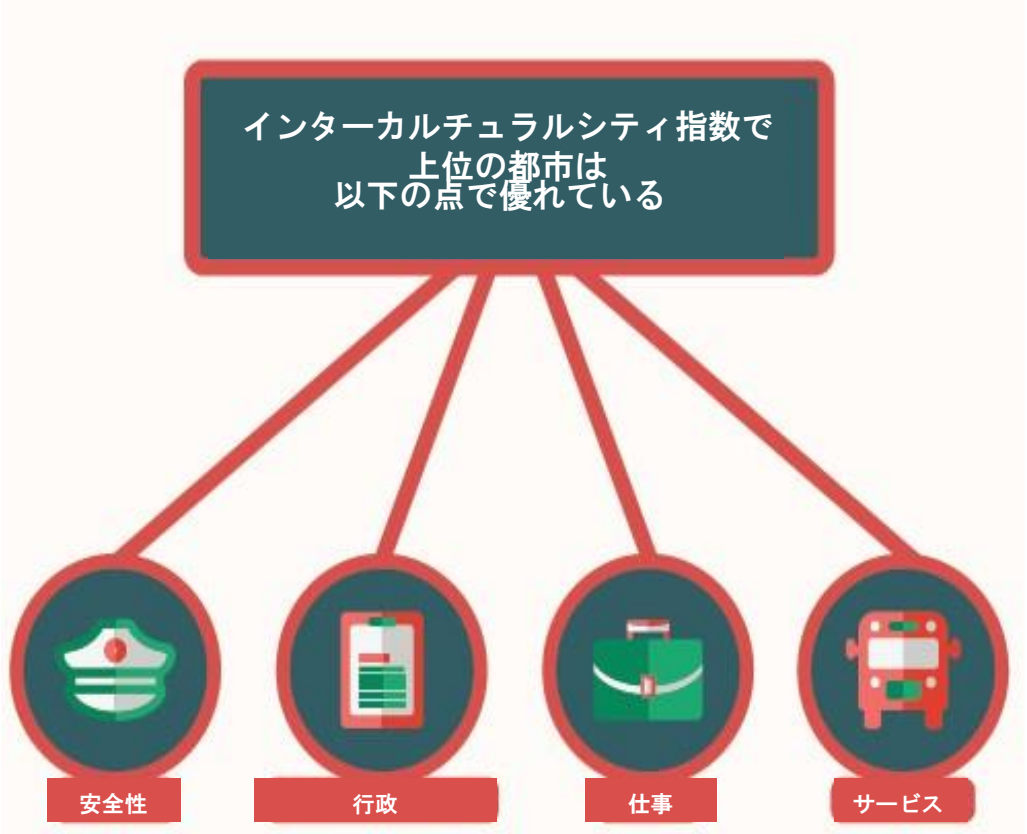




インターカルチュラルな旅



インターカルチュラルモデルの利点



2017年11月にMigration Policy Groupが発表した都市による**インターカルチュラル統合**アプローチの採用と市民による**生活の質**の認識の相関関係に関する調査

インターカルチュラル政策が強い都市の大多数の人々：

- 移住者に対して肯定的な態度を持ち、移住者の存在を肯定的に捉えていた
- 自分の都市は安全で仕事を見つけるのに役立つと思っていた
- 公共サービスは信頼でき、効果的であると考えた

インターカルチュラルアプローチ―複数のレベルでのガバナンス

- **都市**の実践から生まれ、**国家**レベルに推奨され、**多層的**ガバナンスを通じて強化される
- **インターカルチュラル統合**に関する勧告CM/Rec(2015) I
- 国家レベルのインターカルチュラル統合戦略の**モデル枠組み**（欧州評議会閣僚委員会）
- **インターカルチュラル統合のための多層的政策とガバナンス**に関する閣僚委員会の加盟国への勧告（2022年）
- フィンランドとキプロスでのプロジェクト（EUの支援を得て）を通じて実施
- ローカルなモデルをナショナルに

2.インターカルチュラルシティプログラム

私たちはどこにいますか?

ICC会員の主なメリット

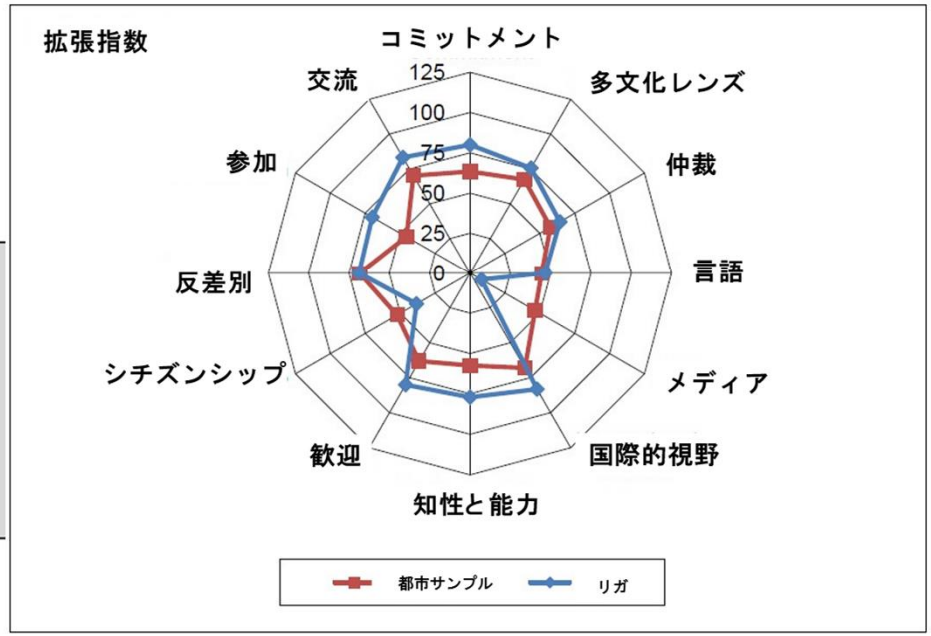
- **ネットワーク** - 移住者のインターカルチュラルな包摂を確保するという共通の目標に向けて他の都市と協力
- **インデックス**プロセス - ギャップを見つけ、良い実践を探す
これは、継続的な包摂（インクルージョン）の取組みの基礎となる
- **ピア・ラーニングと国際的な専門知識** -良い実践を共有し、高名な国際的専門家と協力して改善を続ける
- **コミュニケーション** – 欧州評議会によるICC ウェブサイトへの掲載、ICC ブランディング、実践一覧、欧州評議会 の他の部署へのアクセス
- **大陸横断的な側面** - 北米、アジア、ヨーロッパ、オーストラリアの都市との交流は、共有された課題とそれらに取り組むための多様なアプローチに対する独自の洞察を提供する

ICC指数

インターカルチュラルシティ指数は、
インターカルチュラル統合モデルに関連した
都市のパフォーマンスを評価する。

1.	コミットメント
2.	多文化レンズ
3.	仲裁と紛争解決
4.	言語
5.	メディアとコミュニケーション
6.	国際的視野
7.	多文化の知性と能力
8.	ニューカマーの歓迎
9.	リーダーシップとシチズンシップ
10.	反差別
11.	参加
12.	交流

教育
周辺地域
公的サービス
ビジネスと労働市場
文化的、社会的生活
公共スペース



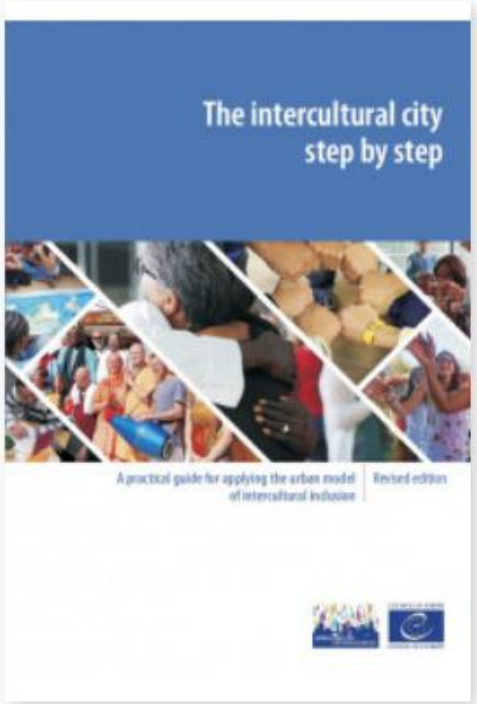
インデックスの結果は、都市が政策と資源投資の**影響**と結果について、**証拠に基づいた判断**を下すのに役立つ。

すべてのインデックスレポート：https://www.coe.int/en/web/interculturalcities/index-results-per-city

政策イノベーションのための包括的なツールセット

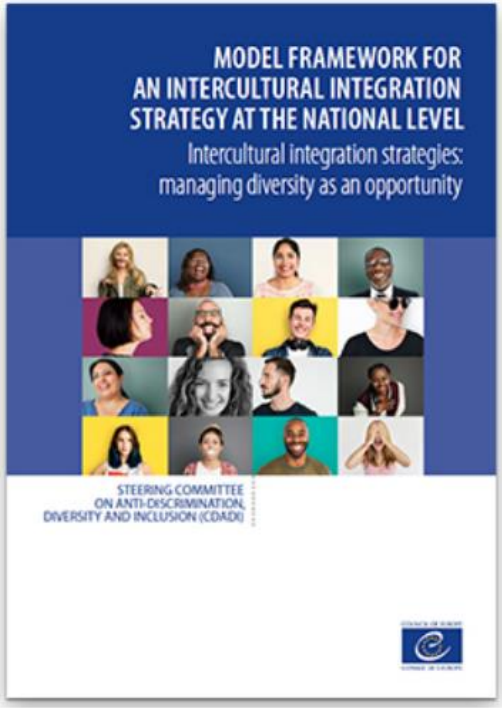
1. **診断およびプロファイリング**：ICC指数
2. **政策ガイダンス**：政策概要、マニュアル、戦略設計支援、方法論
3. **（ピア）学習とメンタリング**：良い実践、視察、テーマ別イベント、ウェビナー、トレーニング
4. **イノベーション**：都市のため、都市とともに
5. **戦略的開発**：国家レベルに到達

戦略デザインの主要ツール



ステップバイステップガイド：
地方自治体がインターカルチュラル統合と包摂の都市モデルを適用するためのツール。

それは多様性を管理する都市の例を、多様なグループ間の信頼と共有されたアイデンティティの構築を容易にするための資源として構築する。



「モデル・フレームワーク」は、国の政策実践者が以下のような統合政策を設計するための指針である

- 真のインターカルチュラル、
- 地域のニーズや状況を考慮し、
- マルチレベル・ガバナンス・アプローチによって設計、実施、評価されている

テーマ別ツール

インターカルチュラルシティ指数は、インターカルチュラルシティのパフォーマンスの指標としてインターカルチュラルコンピテンスを組み込んでいる。

インターカルチュラルコンピテンスに関する研修コースのデザインマニュアルは、欧州評議会のインターカルチュラル統合モデルを一貫した多層的なレベルで実施するために必要なスキルと能力を普及させる目的で、公的機関が独自に作成した研修コースを設計することを支援する。

ツールの日本語翻訳

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/shujutoshi.html
https://www.clair.or.jp/tabunka/portal/efforts/index.php

ネットワークの課題ーハイレベル

- 世界中の地方、国レベルの選挙で拡大する反移民のレトリック
- オンライン、オフラインを問わず、社会全体に広がる分断、偽情報、ヘイトスピーチ
- 国際紛争ー人命の損失に加えて、移住にも影響を与える（例：ウクライナ戦争後のポーランド）
- ヨーロッパ内外での民主主義の後退

ネットワークの課題－プログラム

- 会員需要の拡大、会員の多様なニーズ・要望に一貫して応える必要性
- ネットワークへのメンバーの継続的関与の確保－プログラムの価値は、各都市が活動に積極的に参加し、経験/良い実践を共有することにある
- 言語の壁や時差があるにもかかわらず、ネットワークの全メンバーへの効果的なコミュニケーションを確保する

今後の展望

- 地域・地方レベルに焦点を当てる－国レベルで支配的なナラティブを超えて、差異を生み出すことができ、実践的な解決策が必要
- 多層的ガバナンスを導入し、異なるレベルが効果的に包摂を実現できるようにする
- 反うわさや偽情報に対抗するために参加都市がそうした課題への対応に必要なツールを提供する
- ネットワーク内のすべての都市にアプローチし、そのニーズを理解するとともに、インターカルチュラルな包摂のアプローチに対する国際的な認知を高める
- 支援を求める加盟都市には、きめ細かい支援を提供し、新たな事態に迅速に対応できるようにする

ご清聴ありがとうございました！

https://www.coe.int/interculturalcities/

COUNCIL OF EUROPE

CONSEIL DE L'EUROPE

COUNCIL OF EUROPE
CONSEIL DE L'EUROPE
46 MEMBER STATES
46 ÉTATS MEMBRES
Albanie Tirana
Allemagne Berlin
Andorre Andorre-la-Vieille
Arménie Erevan
Autriche Vienne
Azerbaïdjan Bakou
Belgique Bruxelles
Bosnie-Herzégovine Sarajevo
Bulgarie Sofia
Chypre Nicosie
Croatie Zagreb
Danemark Copenhague
Espagne Madrid
Estonie Tallinn
Finlande Helsinki
France Paris
Géorgie Tbilissi
Grèce Athènes
Hongrie Budapest
Irlande Dublin
Islande Reykjavik
Italie Rome
Lettonie Riga
Liechtenstein Vaduz
Lituanie Vilnius
Luxembourg Luxembourg
Macédoine du Nord Skopje
Malte La Valette
République de Moldova Chişinău
Monaco Monaco
Monténégro Podgorica
Norvège Oslo
Pays-Bas Amsterdam
Pologne Varsovie
Portugal Lisbonne
République slovaque Bratislava
Roumanie Bucarest
Royaume-Uni Londres
Saint-Marin Saint-Marin
Serbie Belgrade
Slovénie Ljubljana
Suède Stockholm
Suisse Berne
Tchéquie Prague
Türkiye Ankara
Ukraine Kyiv
*Toute référence au Kosovo dans le présent document, qu'il s'agisse de son territoire, de ses institutions ou de sa population, doit être entendue dans le plein respect de la Résolution 1244 du Conseil de sécurité de l'Organisation des Nations Unies, sans préjuger du statut du Kosovo.
Carte et drapeaux à caractère illustratif
Designed by Latitude Mapping Ltd – Avril 2024
Canada
Greenland (Den.)
Iceland
Jan Mayen (Nor.)
Svalbard (Nor.)
Arctic Ocean
Barents Sea
The Faeroes (Den.)
North Atlantic Ocean
Russian Federation
Finland
Norway
Sweden
Estonia
Latvia
Lithuania
Russia
Baltic Sea
Belarus
North Sea
Denmark
Ireland
United Kingdom
The Netherlands
Belgium
Germany
Poland
Luxembourg
Czechia
Slovak Rep.
Ukraine
Rep. of Moldova
Liechtenstein
Austria
Switzerland
France
Hungary
Slovenia
Romania
Bay of Biscay
San Marino
Croatia
Bosnia and Herzegovina
Serbia
Black Sea
Georgia
Armenia
Azerbaijan
Caspian Sea
Portugal
Andorra
Monaco
Spain
Italy
Montenegro
Albania
Kosovo*
North Macedonia
Bulgaria
Greece
Türkiye
Madeira (Port.)
Morocco
Algeria
Tunisia
Malta
Mediterranean Sea
Cyprus
Syria
Lebanon
Israel
Libya
Egypt
COUNCIL OF EUROPE
75
1949 - 2024
CONSEIL DE L'EUROPE

戻る